

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立古志原小学校）

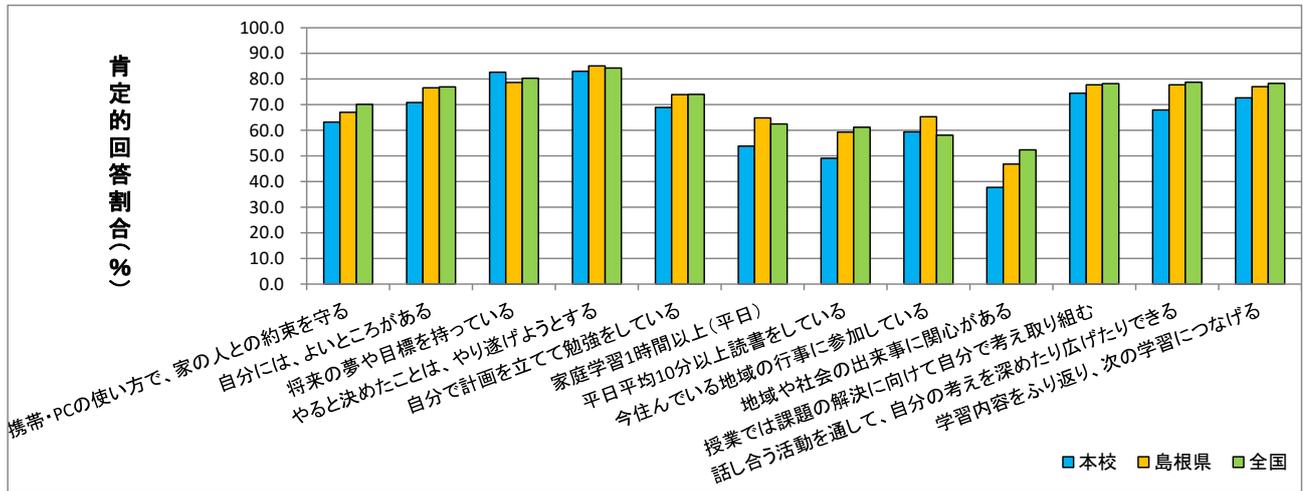
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○問題に丁寧に取り組んでおり、前半の回答率は高い。(問題や課題文をじっくりと読みこみすぎている) ●条件付きでの作文。 ●主語と述語などの文法問題に課題。 ●記述問題に無回答が目立つ。	・日頃から、キーワードや条件を設けて振り返りを書かせる。 ・漢字や文法は低学年から継続的に繰り返し復習していく。 ・新聞ワークシートを活用するなど、短時間で読んで書く活動を取り入れる。
算数	○割合がよくできている。 ●説明する力。 ●問題文が長い場合や複合型になっている場合読み解く力・読み解こうとする力が足りない。 ●公式が定着していない。	・朝の時間や授業の初めの10分など帯活動的に復習を重ねる。 ・例示を出しながら板書をするなど、答え方を示すことも必要。 ・全員が言葉で説明をする授業の工夫。(説明して終わりではなく、演習問題に取り組むことで定着も図る) ・具体的操作を大事にする。

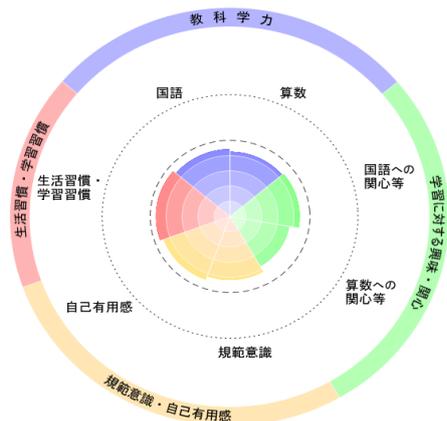
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
○将来の夢を持っている。 ○生活習慣はおおむね身につけている。 ○地域行事への参加が積極的である ●地域社会への課題意識はもっていない。 ●自分の思いを表現する、友だちと意見のやり取りをすることへの苦手意識。 ●家庭学習、読書の時間が少ない。	・ふるさと教育の中で課題を解決するような提案性のある活動をする。 ・自分の考えを伝えたり、伝え合う楽しさを感じられたりする経験を増やす。 ・話し方の順序や自分の考えの理由をはっきりとさせるなど、話型を示す。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・家庭学習の取り組みの見直し。
- ・家庭読書の取り組みの見直し。

【受検者数】 106名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。